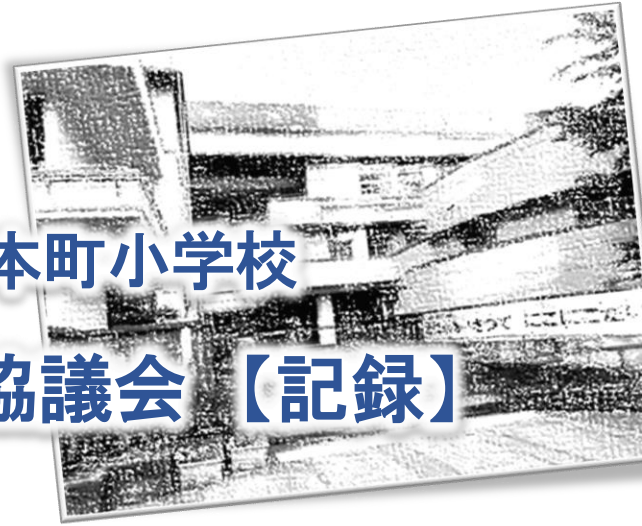




令和3年度 横浜市立本町小学校

第1回 学校運営協議会【記録】



日時: 令和3年6月5日(土) 10:00~11:15

1. 開会挨拶

2. 委員委嘱

3. 役員選任

会則が3-1にある。それに則り、会長及び副会長を選出・依頼。→承認。

4. 学校運営委員会会長挨拶

- ・ コロナ禍により、学校との関わりが減ってしまった。そうした中でも、絵手紙をもらうなど学校と地域との交流ができたことはよかった。
- ・ 子ども達は、登下校で真面目に信号を守っている。幸い大きな事件事故は起きていない。
- ・ コロナが収まったら、若いパワーをもらいたい。

5. 委員自己紹介

6. 今年度の学校運営について(校長)

○ 学校教育目標

- ・ 中期学校経営方針は、最終年度。次年度に向けて、しっかり考えていく1年になる。
- ・ 学校教育目標の実現を目指して、様々な教育活動を展開していく。今の時期に様々な力を培ってほしい。かけがえのない存在の子ども達を、学校・家庭・まちで育てていけるようにしたい。
- ・ 子ども達が自分達の住むまちのよさに気づき、発信していく。このまちには、「ひと・もの・こと」が詰まっている。非常に広く深いものが含まれている。以前から「まちネットワーク」という言葉が言われていたが、まちとの関係性が重要である。
- ・ 学校地域コーディネーターを、〇〇委員にお願いした。まちの教育力をコーディネートしていくスペシャリストとして期待。
- ・ 「安心」「安全」「豊か」「充実」を柱にする。

「安全」: 下校中に子どもが事故に遭い亡くなるということが市内であった。ご家庭でも見守りをこれまでもお願いしたい。また、新校舎は丁寧に使い、元々の校舎は手入れを加えていく。

「安心」: コロナ対策の徹底。昨年よりよくなっているとはいえない。

同時に暑さ対策も不可欠。エアコンは常時活用。風通しが悪い校舎だったが改善されている。子どもの活動は止めないようにし、大人の活動を考えていく。

(子ども: 運動時はマスクを外す、大人: 運動会での参観制限など)

ただ水泳学習は、現実的に難しい。更衣室も手狭。水泳学習見送ることで安心を確保する。

豊か: 人権意識を高める。いじめの対応(未然防止・早期発見)のため、アンテナを高くする。教職員の働き方も改善していく。

「充実」: 本町が培ってきた研究の部分。授業力改善・向上。子どもが学校に来たくなる授業に。ICT、

まちの教育力、ほんものに出会わせる。「この学校があってよかった」「効果がある」と思える学校経営をしていきたい。

- ・ 次回、学校の授業を見てもらう予定。(※9月14日の開催については流動的)
- ・ その2週後、(家庭向け)授業参観を予定。
- ・ 委員の声を意見書にして教育委員会に伝えることができる。10月の会で話題にしてもらいたい。

○ コロナ禍での学校の運営方針

- ・ 家庭には丁寧に発信していく。できるかもできないかもと根拠なく延ばして混乱させない。
- ・ 水泳については、見送り決定。お知らせを翌週発信。
- ・ 宿泊については、検討中。⇒7月初頭に公表。
- ・ 「安心」「安全」「豊か」の逆は、「不安」「危険」「心が揺れ動く」。そのような学校にはしたくない。

7. 委員のみなさまから【委員名略】

- ・ 事件事故がいつ起きるか分からない。防犯カメラを付けてから、治安はととてもよくなった。ただ、去年から今年の春にかけて、ひき逃げが多かった。小学生を守っていきたい。
- ・ ラジオ体操を実施するか決定していない。意見を聞きたい。
 - ⇒ (地域)地域の祭りも中止になっている現状がある。
 - ⇒ (保護者)だらだらしがちな長期休みにリズムができる。やる方法を模索していけるとありがたい。
 - ⇒ (学校)学校としては、地域の方向性を受け入れる。
- ・ 授業に出られない子どもの相手を専任が相手をしているのを見かけた。昨年度、5校時になるとキッズに来ていた(授業を勝手に抜けて)子がいたが、今年度は来ていない。対応の成果が出たのか。また、集団での行動が難しい一般級にいる子どもにどう対応しているのか。
 - ⇒ (学校【事務局】)
 - 集団の中で落ち着いて学習できない子がいる。そうした中、全職員で一人一人を大切にしようとしている。ただ、担任は多くの児童を見ているため、一人にかかりきりになれない。そこで、職員集団として対応する体制をとっている。たとえば、担任以外の教職員が授業に入り、落ち着かない児童のサポートをしている。また、放課後にケース会議といって対応を検討する会議の時間を設けている。とにかく、担任が孤立しないように意識している。
 - ただ、職員だけではサポートは正直難しい。そこでATや地域の方にご協力をお願いしている。人がたくさんいればいるほど授業に専念できる。
- ・ PTAも今までと全く同じというわけにいかないが、あえて、変えるチャンス。これまで地域の祭りなど我慢自粛だったが、いろいろ分かってきたので、やり方を模索していきたい。
- ・ 学校教育事務所で学校支援員という立場で、新任校長に助言をしている。昨年度多かったのが、行事をどうするかであった。今までやってきたことが通用しないということに悩んでいた。「緊急事態宣言・蔓延防止措置」が出ている時と出ていない時、それぞれで想定して考えていくことが必要である。ラジオ体操も同様。
- ・ やる方向で、やれるように考える。ラジオ体操だったら、運動量を考えれば、マスクをしてやることはどうか検討してみるなど。
- ・ 宿泊について実施を考えている場合、「やる方向でいくが、ただしこのラインは絶対譲らない」というものを示し、理解を得られるようにする。ちなみに、昨年度早い段階で中止を決定した学校の中には、保護者からクレームがきたところもあった。(情報：奥日光は宿が空いている。)

- ・ 子ども達のことを考えて検討を重ねる。
- ・ 今年度は地域の方(いけのや)との交流を行った。1年間の空白をつないでいきたい。
- ・ 5/22に体育祭を開催
- ・ 「何をしたいか」が、ぶれないようにする。予防と拡大防止で、やれることを考えていく。
- ・ 地域と相談したり、4つの小学校と連絡をとったりしていく。
- ・ 英語教育の充実→5割の生徒が外国につながる。コミュニケーション能力を育む。
- ・ みなとみらい本町に出前授業と学校紹介をした。
- ・ 小中連携を大事にしていきたい。
- ・ 実感を伴う、時間を共有していきたい。
- ・ 分離して4年目だが、改めて本町のすごさを感じている。本町と校歌が一緒。自分達の校歌がほしいと言ったら考えたが、今でも「学び舎」が大切に思っている。
- ・ 学校教育は、一貫して変わらないもの、次の世代に生きることにつながるものとある。
- ・ 学校だけでできることはわずか。学校外の方と一緒に作っていくことが大切。地域性の違いと言ってしまえばそれまでだが、本町小とみなとみらい本町小と違う。本町は、まちの方々が、一緒に育てようとしている。みなとみらいは商業施設。
- ・ 開校以来、本町のいいとこどりをしているが、なかなか子ども同士教員同士で交流できていなかった。それぞれの学校のよさを共有していきたい。
- ・ 学校便りでまちに学校のことが伝わるのがよい。学校のやり方・方針・行事が伝わる。
- ・ 子ども達が、コロナについて理解している。これからも協力していきたい。

8. 今後の予定について:(事務局)副校長

- ・ 今後の予定
- ・ 諸手続きについて

9. 閉会挨拶

人や自然に進んでかかわり、自ら学びを高め、
心豊かにたくましく生きていく力を育てます。

～自己教育力とコミュニケーション力の育成～

家庭

まち

かけがえのない子ども

学校

つながり 関係性 → まちネットワークの拠点

学校運営協議会
地域学校協働活動本部〈機能化〉

安全 安心 充実 豊か

教職員の働き方
「改善」

実感のある安全教育
(交通安全・防災・防犯)

新型コロナウイルス
感染症対策の
徹底の継続

効果のある
学校教育

いじめ、
暴力(言動)防止のための
強いメッセージ